

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 6月 8日 更新

事務事業名	菊池台地用水土地改良区・合志土地改良区・西合志土地改良区運営支援事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	6	産業の健康			所属部	事業部	課長名	塚本 健洋
	施策	26	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	大塚 勝己
	施策の柱	69	生産基盤の確保と経営力の強化			所属班	農地整備班	(内線)	1172
予算科目	会計一般	款 6	項 1	目 12	事業連番 10262	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑧ コスト削減優先度評価結果 : ③		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<ul style="list-style-type: none"> 菊池台地用水土地改良区、合志土地改良区並びに西合志土地改良区に対する運営支援事業 昭和43年土地改良区設立時より、行政からの補助は続けられている。土地改良区組合員の賦課金の軽減を目的とされている。 土地改良事業の減少に伴い補助金も減額されている。 合志、西合志の両土地改良区は将来的に合併する方向で検討していく。 庁舎増築、配置換えに伴い、両土地改良区は同じ農政課内に事務所を置くようにするところで検討していく。
【業務の流れ】	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画申請→内示→補助金申請→交付決定→補助金交付事務 西合志土地改良区に対しては、嘱託職員1名のため事務の補助を行う。
【主な予算費目】	6-1-12-19 負担金及び補助金
【意見や要望】	<ul style="list-style-type: none"> 合志土地改良区、西合志土地改良区の合併は出来ないのか。統合はできないのか(議会・事業仕分け) 事務局については両土地改良区とも農政課内においた方が事務事業の効率化が図れるので、現在西合志庁舎に事務局がある西合志土地改良区についても、庁舎増築、配置換えに合わせて農政課内に事務所を置いて欲しい。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)	29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
菊池台地用水土地改良区、合志土地改良区並びに西合志土地改良区に対する運営支援事業	菊池台地用水土地改良区、合志土地改良区並びに西合志土地改良区に対する事務費等補助金交付事務。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 助成件数	件 前年度は合志及び西合志土地改良区にて土地改良施設維持管理適正化事業を実施したが、今年度は合志土地改良区において土地改良施設維持管理適正化事業がなかったことによる補助金の減。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
土地改良区組合員	→ ア: 土地改良区組合員数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
負担が軽減される。	→ ア: 歳入に対する補助金の割合 %
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠	
・受益者への支援を行うことにより、農業経営の安定を図る。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込
① 活動指標	ア	件	3	3	3	3	3	3	3	3
② 対象指標	ア	人	1,574	1,568	1,568	1,569	1,569	1,569	1,569	1,569
③ 成果指標	ア	%	17.2	14.2	15	8.3	15	15	15	15
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
			千円	15,552	17,314	15,806	15,775	14,331	14,331	14,331
	(A) 事業費計	千円	15,552	17,314	15,806	15,775	14,331	14,331	14,331	14,331
	(A)のうち指定経費	千円	564	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	0	4	0	0	0
	延べ業務時間	時間	610	620	0	290	0	0	0	
	(B)人件費計	千円	2,430	2,302	0	0	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	17,982	19,616	15,806	15,775	14,331	14,331	14,331	

事務事業名	菊池台地用土地改良区・合志土地改良区・西合志土地改良区運営支援事業	所属部	事業部	所属課	農政課
-------	-----------------------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 前年度並は見込める。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ・土地改良区の職員により運営されており、健全な財務内容であり安定した団体経営がされているが、両土地改良区が合併し、事務所も農政課内に置くことにより更なる事務の効率化が図れる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・他に類似事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・財務内容を検討し、事業費の削減を行っている。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・削減余地が見当たらない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ・受益者全体の負担軽減になっており公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ・土地改良事業は農家・公共団体の仕事であり、受益者の負担を軽減し、後継者の育ちやすい環境をつくるのは、市が行うことは妥当である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

・土地改良区への補助は、組合員の賦課金の軽減及び農業振興の観点から今後も必要である。
・更なる事務の効率化を図るために合志、西合志両土地改良区の合併と合併する前でも、両土地改良区の事務所を庁舎増築に合わせ、農政課内に置くことが必要である。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善 (有効性改善)
事業のやり方改善 (効率性改善) 事業のやり方改善 (公平性改善)
現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策